

プロヴァンスからこんにちは！

熊本市がフランス・エクサンプロヴァンス市と「交流都市」協定に調印しました！フランス・エクサンプロヴァンス市紹介



第1弾 ～能舞台を通した民間交流を背景に両市の調印へと結実～

エクサンプロヴァンス市の位置



フランスのエクサンプロヴァンス市について、ご存知ですか。地中海に面するフランス南部の大都市マルセイユから北へ25キロ、車では20分ほどのところに位置しています。この地に惹かれたイギリス人作家のピーター・メイル氏が執筆した「南仏プロヴァンスの12ヶ月 (A Year in Provence)」が1989年に世界的ベストセラーとなったことで、世界中の人に知られるようになり、世界中から多くの観光客が訪れている人口14万人の都市です。「近代絵画の父」と称される画家ポール・セザンヌの故郷であり、セザンヌゆかりの観光スポットが数多く存在し、17～18世紀の歴史的な建造物をそのまま保存した歴史のある街並みを擁しています。また、世界3大オペラ祭である「エクサンプロヴァンス国際音楽祭」が毎年夏に開催されるなど、世界にも名だたる地位を確立している都市ともいえます。

熊本市とエクサンプロヴァンス市の関係は、1984年の熊本日仏協会の同市訪問をきっかけに開始されました。その後、熊本市在住の喜多流能楽師狩野琇鵬氏（フランス国内での呼称は狩野丹秀氏）が、関係者から譲り受けた能舞台の移築先を探していたこと、日本の能について熱心に研究しているフランス人の学者が能楽を絶賛していたこと、さらに、熊本市在住で南仏出身のフランス人が「エクサンプロヴァンスの国際音楽祭で日本の能を見学できないか。世界中の人々が能を見るきっかけになる。」と狩野氏に相談していたことなどをきっかけとして、同氏が、1992年、エクサンプロヴァンス市に総檜の能舞台を寄贈することを決められ、両市の実質的な民間交流が始まりました。

このように能舞台を中心とした日本の伝統芸能をエクサンプロヴァンス市民に紹介し、草の根の民間交流が20年以上にわたり、継続してきました。この民間交流がご縁となり、行政レベルにおいても樹木交換や国際イベントへの参加等の相互交流が行われるようになりました。昨年9月、両市は、エクサンプロヴァンス市において交流都市協定に向けた「意向書」を取り交わし、これを受け、今年2月中旬、エクサンプロヴァンス市からマルティン・フネストラス副市長を団長とする代表団3名が来熊され、2月16日に「交流都市」協定の調印を行いました。今後は、これまでの民間交流を礎として、文化・芸術交流の他、観光、経済、教育、調査研究、都市活性化、都市行政など具体的な成果が期待される各分野での様々な交流を深めてまいります。（随時掲載）



（熊本市国際室） エクサンプロヴァンス市にある狩野丹秀能舞台